

常磐公園改修事業基本計画（河川空間ぬき）における
3-3.個別計画 - 河川空間の内容（P26）

3-3 河川空間

河川空間の課題は以下のとおりとなります。

河川空間

課題 7：イベント時には多くの市民が集まるが平常時には利用が少ない。

課題 8：常磐公園と河川空間が分断され一体性がない。

課題 9：堤防付近は樹木により暗い雰囲気になっている。

以上の課題を踏まえ、今後の整備計画を策定するための検討案を挙げます。

河川空間の整備方針（案）

文化・芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上のための整備

文化・芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上のための整備

- ・ 堤防を緩傾斜化することにより、常磐公園との一体的な整備を図るとともに安全性や利便性の向上に努めます。
- ・ 常磐公園や施設周辺区域の慢性的な駐車場不足を補うべく、常設 80 台の駐車場を確保するとともに、常磐公園との動線を強化します。
- ・ 「常磐公園の緑の計画」に基づき、既存の樹木については、樹木の保全区域を設けたり、移植可能な樹木や残置可能な樹木については専門的な見地により可能な限り保全等を行い、計画的な植栽を進めていきます。
- ・ 賑わいのある水辺空間を創出するという観点から、オープンカフェの設置など、イベントスペースとしての活用について検討していきます。



河川空間周辺の今後の検討案としてのイメージ

「河川空間」の整備については、「常磐公園の緑の計画」に基づき、専門家により具体的に検討を進めていきます。「河川空間」の整備内容については別途市民の皆様からのご意見を求める機会を設けることを予定しております。

常磐公園改修事業基本計画における
3-3.個別計画（河川空間）の修正案（P26.27）

3-3 河川空間（詳細は、別冊「個別計画（河川空間）」による）

河川空間の課題は以下のとおりとなります。

河川空間

課題 7：イベント時には多くの市民が集まるが平常時には利用が少ない。

課題 8：常磐公園と河川空間が分断され一体性がない。

課題 9：堤防付近は樹木により暗い雰囲気になっている。

以上の課題を踏まえ、今後の整備計画を策定するための検討案を挙げます。

河川空間の整備方針

文化・芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上のための整備

文化・芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上のための整備

- ・ 堤防を緩傾斜化し、階段やバリアフリーに対応したスロープを整備し、常磐公園との一体化を図り動線を強化するとともに安全性や利便性の向上に努めます。
- ・ 慢性的な駐車場不足を補うべく、河川敷にスムーズに進入可能な取付道路を整備し、常設 80 台の駐車場と大型車両の駐車スペースを自然や景観に配慮した舗装材により整備します。
- ・ 整備後の緑の復元については、整備による影響を最小限に抑えるため現況樹木を移植または極力保全し、新たに植栽を行う樹木は可能な限り大きなものを植えるほか配置バランスを考慮します。
- ・ 整備後は堤防と公園を一体的に管理することが可能となるため、「常磐公園の緑の計画」に基づき適切な樹木更新を進め、将来に渡って健全な樹木と景観を維持していきます。
- ・ 賑わいのある水辺空間を創出するという観点から、天端を拡幅し堤防上に休憩施設を設置するほか、イベント等にも利用可能なオープンスペースとしてオープンカフェの設置などの利用を検討していきます。



河川空間のイメージ

図表 3-5 河川空間計画図

